

広島市西部水資源再生センター下水汚泥再資源化施設更新・運営事業に係る契約の締結について

令和7年9月19日付けで公告した「広島市西部水資源再生センター下水汚泥再資源化施設更新・運営事業」について、工事請負契約等を締結しましたので、下記のとおり公表します。

令和8年9月14日

広島市長 松井 一實

記

1 事業名称

広島市西部水資源再生センター下水汚泥再資源化施設更新・運営事業

2 事業場所

広島市西区扇一丁目

3 契約内容

(1) 工事請負契約

受注者名	月島JFEアクアソリューション株式会社 中国支店 (所在地) 広島市中区橋本町10番10号
工 種	機械器具設置 建築一式
工 事 概 要	脱水汚泥受入施設等 25m ³ ×2基 下水汚泥再資源化施設等 60t-wet/日×2系列
契約年月日	令和8年9月14日
工 期	令和8年9月14日 から 令和18年3月31日 まで
契約金額	19,800,000,000円

(2) 維持管理・運営業務委託契約

受注者名	月島ジェイテクノ・月島JFE・建設技術研究所運営業務共同企業体 (所在地) 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号
業 務 概 要	下水汚泥再資源化施設等の維持管理・運営業務
契約年月日	令和8年9月14日
履 行 期 間	令和8年9月14日 から 令和37年3月31日 まで (実運営期間: 令和14年4月1日 から 令和37年3月31日 まで)
契約金額	9,470,464,080円

(3) 下水汚泥再資源化物売買契約

受注者名	月島ジェイテクノ・月島 JFE・建設技術研究所運営業務共同企業体 (所在地) 大阪市中央区瓦町三丁目 6 番 5 号
契約概要	受注者による下水汚泥再資源化物の買い取り
契約年月日	令和 8 年 9 月 1 4 日
履行期間	令和 8 年 9 月 1 4 日 から 令和 3 7 年 3 月 3 1 日 まで (実買取期間: 令和 1 4 年 4 月 1 日 から 令和 3 7 年 3 月 3 1 日 まで)
契約金額	下水汚泥再資源化物 1 トン当たり 1 1 0 円 (燃料利用、肥料利用)

(4) 付帯事業契約

受注者名	月島 J F E アクアソリューション株式会社 中国支店 (所在地) 広島市中区橋本町 1 0 番 1 0 号
業務概要	脱炭素型スマート農業による食育農園の運営等
契約年月日	令和 8 年 9 月 1 4 日
履行期間	令和 8 年 9 月 1 4 日 から 令和 3 8 年 3 月 3 1 日 まで
契約金額	—※

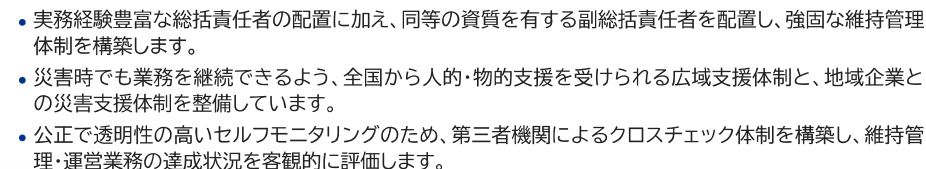
※付帯事業契約において履行する業務は、受注者の提案に基づき任意で実施されるものであり、その運営は民設民営の独立採算による事業として行われる。

4 技術提案概要

事業者から提出された技術提案書の概要は別紙のとおり。

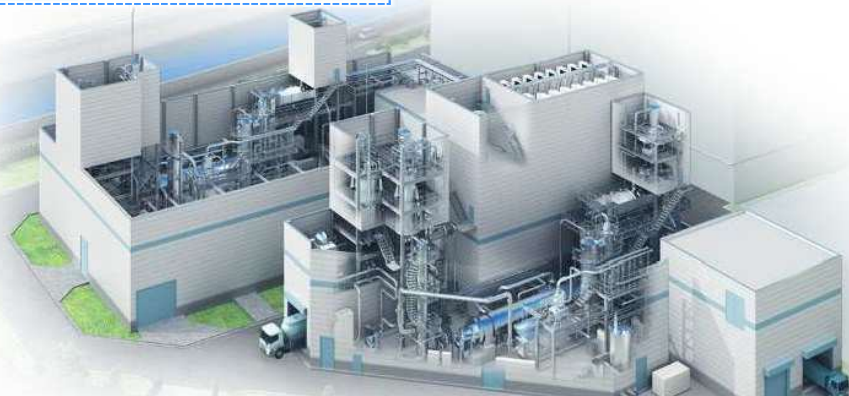
強固な管理体制とDXの活用により、安全・安定・安心な維持管理を実現

〔持続的な事業運営と品質管理を担保する維持管理体制〕



〔DX活用による運転監視の高度化と業務の効率化〕

- 集中監視センターを活用し、現場の運転監視業務を支援します。
- AIを活用した自動制御を導入し、設備全体の安定運転及び業務の省力化に繋がります。



多様なパートナーと実現する炭化物の持続的な利活用

炭化物は確約書を受領した5社と意向を受けている企業により確実に利活用

「低燃費+消化ガス利用による下水汚泥再資源化」 「余剰消化ガスによる消化ガス発電」

- 本事業で採用する「低炭素化方式」は污泥がもつエネルギーをプロセス内で最大限に活用できるため、低燃費で運転可能な技術です。
- 補助燃料には全量消化ガスを使用することで、化石燃料ゼロで下水污泥の再資源化を行います。
- 低燃費な低炭素化方式の採用により余剰消化ガスを創出し、消化ガス発電を実施することでカーボンフリー電力を自家製造・自家消費します。

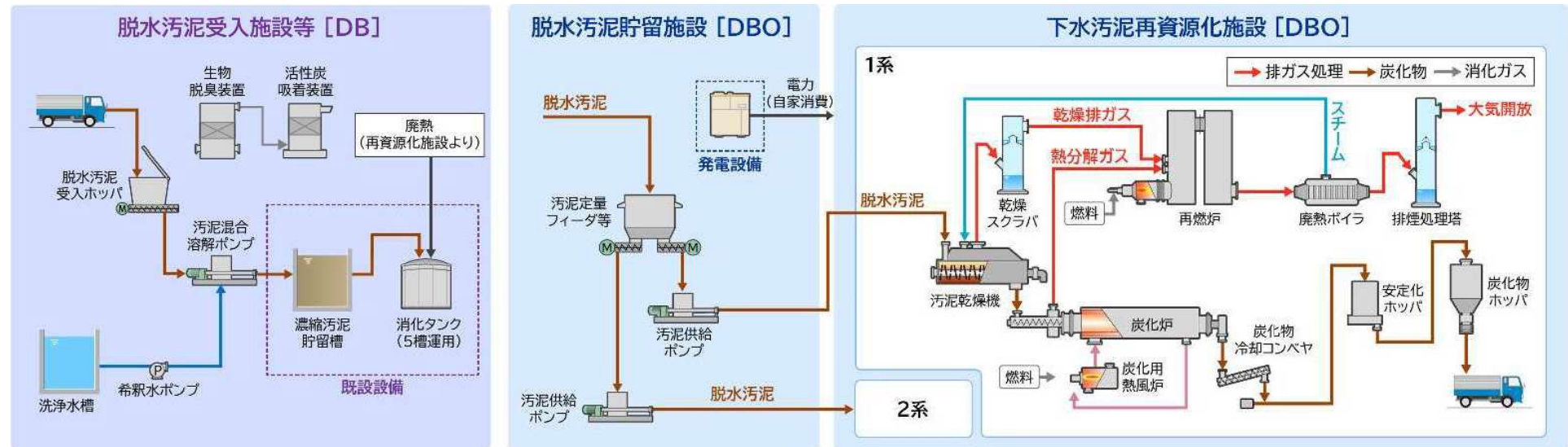


- 【燃料利用(下水污泥炭化燃料)】
- 代表企業の燃料化事業実績を活かし、利活用先確保により事業の安定性を高めます。
- 【肥料利用(菌体りん酸肥料)】
- 運営JV構成企業の農業の知見を活かし、複数の農業関係者と連携して肥料利用と販路拡大を行います。



栽培試驗 生育比較

企業名	本事業の関わり	
A	利活用	確約書
B	利活用	
C	利活用	
D	利活用	
E	利活用	
F	利活用	確約書 連携
G	利活用	確約書 連携
H	利活用	確約書 連携
I	利活用	確約書 連携
J	利活用	連携
K	連携	
L	連携	
M	連携	
N	連携	
O	連携	
P	連携	
Q	連携	



下水汚泥再資源化施設等 [DBO]

豊富な実績に基づいた信頼性の高い設備

代表企業製の「蒸気間接加熱式乾燥機」及び「熱風式外熱キルン炭化炉」の採用により、安定的な乾燥～炭化処理を行い、確実な炭化物の製造を実現します。

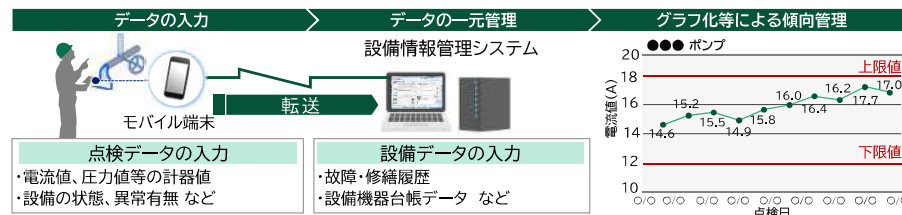


技術方式	低温炭化方式
施設規模	60t-wet/日×2系列

維持管理・運営業務

データ活用とオンライン診断による予防保全の強化

- 「設備情報管理システム」で保守データを一元化し、適切な予防保全により安定運転を実現します。
- 「オンライン振動診断」を導入し、状態を常時監視することで、突発故障を抑制します。



本事業を通じた地域社会・企業との共生

- 即応可能な強みを発揮できるよう、地域企業へ優先的に資機材等の調達や修繕業務等を発注します。
- 本事業への理解と共感を得られるよう、PR動画を作成するとともに、動画配信サービスを通じた広報展開を推進します。

付帯事業

脱炭素型スマート農業による食育農園の運営

脱炭素型スマート農業を中心とした取り組みにより広島市・市民・事業者の三者にとって価値のある付帯事業の運営を行います。